

# えでゆく

9

立川と語ろう 立川に生きよう  
September 2006  
écoutez bien Vol.25 No.262



表紙の人／田中 清(上砂町) 写真／細江英公

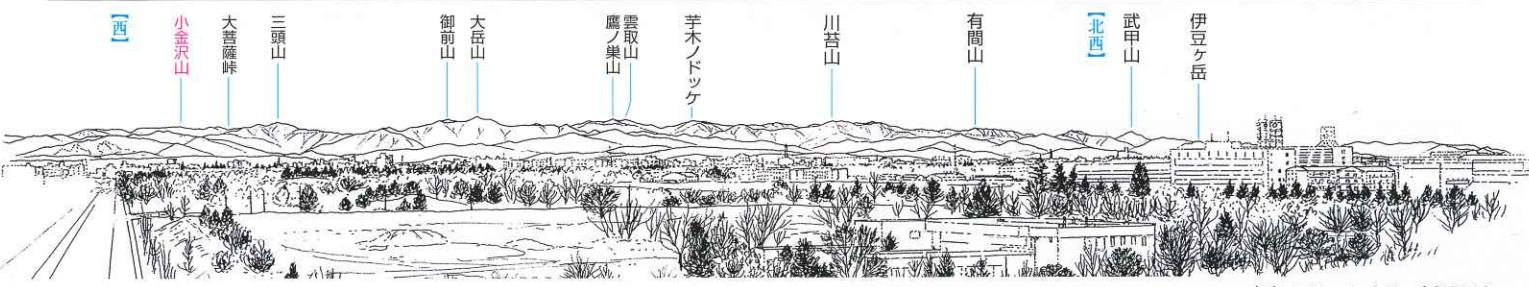
## 続・立川から見える山②

案内人：守屋龍男 写真：中村伸

山岳展望図：藤本一美

# 小金沢山

2014m



多摩モノレール 立川-高松間より

## 熊も棲む深山

### 【小金沢山へのコース】

立川 = 中央道 1時間 = 勝沼 = 林道 1時間 = 小屋平  
→ 1時間 30分 → 石丸峠 → 15分 → 天狗棚山 → 20  
分 → 狼平 → 1時間 → 小金沢山 → 往路を戻る  
(=車 → :徒歩)



三頭山の左奥に見える大きな屋根型の山が小金沢山である。昔、金が採れたからこの名が付いたという説もあるが、東側を流れる小金沢の水源にあたるので、この名が付いたというのが正しいようだ。

秋風が涼しい始めた9月中旬に登ってみた。

甲斐大和から林道を車でさかのぼり、秘湯・嵯峨塩温泉の先の小屋平まで行く。笹の繁茂する急な道を息を弾ませて登り、小尾根を乗っ越すと山腹の緩やかなトラバース道になる。展望も開け、これから登る山が見えてくる。足元にはリンドウやキバナコマツメ（黄色のスミレ）が可憐な花を咲かせている。

涼しい秋風に吹かれながら先に進み、緑の草原の中の石丸峠に着く。早くも色づき始めたナナカマドの紅葉に飾られた峠は一幅の絵のように美しい。尾根続きながらポピュラーな大菩薩峠に比べ登山者も少なく静かだ。

急に霧が濃くなり視界が悪くなった中を先に進み、天狗棚山の小ピークを何とか越える。同行したカメラマンが熊のような動物が逃げていくのを見たという。熊除けに笛を鳴らしながら慎重に歩く。3年前、私もここで熊に会った。数分間（実際は数十秒間だったろうか）の睨み合いの末、熊のほうから逃げてくれて助かったが……。

狼平から身の丈ほどのスズ竹の生い茂る深い藪を分け、サルオガセのぶら下がるオオシラビソの樹林地帯を這いずり登り、ようやく山頂に着いた。展望は霧に遮られてゼロだったが、奥深い山を征服した達成感を十分に味わった。

# 聴いてくれる人がいるから、歌い続けられる



於：錦町ご自宅で 写真：五来孝平

## シャンソン歌手 麻生ミエさん

■ 麻生ミエ（あそう・みえ）／宝塚音楽学校卒業。宝塚歌劇団雪組の娘役として4年間舞台に。結婚のため退団後子育てに専念。1991年にカンツォーネの村上進に師事してシャンソンを歌い始める。日本シャンソン協会正会員。都内のシャンソンフォリーに毎年参加している。

■ 芳賀敏博（はが・としひろ）／えくてびあん編集人

**芳賀** 麻生さんは宝塚出身でシャンソン歌手、弟の四戸世紀さんは世界的に知られるクラリネット奏者。音楽ご一家なんですね。

**麻生** いえいえ、そんなことはないんです。影響があったとしたら兄が音楽好きだったことですね。ピアノが好きで、レコードもたくさん集めて、家の中にいつも音楽が流れています。私と末っ子の世紀はその影響を受けていると思います。すぐ下の弟は新聞記者。父が厳格で兄は音楽の道には進みませんでしたが、音楽についていちばん知っているかもしれません。現役をリタイアして、今は立川の市民オペラで歌っています（笑）。

**芳賀** 宝塚に入ろうと思われたのはどう

して？

**麻生** 歌うことだけは、小さい頃から本当に好きだったんです。今はなくなりましたけど家の裏にモミジの木があって、しおりゅう枝に上って歌っていました。

**芳賀** 一度はやめていた歌をまた始めたのは、何かきっかけがあったんでよ。

**麻生** もう亡くなられたんですが、カンツォーネ歌手として知られる村上進さんとの出会いです。「せっかく宝塚にいたんだから、ちょっと歌ってみたら」と勧められて。ちょうど主人の転勤で4年間いたニューヨークから帰ってきた頃で、子育ても一段落し、主人も好きなことならある程度やってもいいかと理解してくれたと思います（笑）。とにかく歌が好

きだから歌っていたい、だめならいつでもやめようという感じで始めてしまったんですね。歌い始めてみると、やはり好きだから夢中になって……。

**芳賀** 先生がカンツォーネなのに麻生さんはシャンソン？

**麻生** 村上先生はカンツォーネを含め幅広く歌わされましたし、私にはシャンソンが向いているからと。亡くなられたのが1994年ですから、私は最後の方の弟子になるんですが、歌に対する考え方方が一変するくらいの影響を受けました。

**芳賀** 同じ歌でもそんなに違いますか。

**麻生** 宝塚にいた頃はバックが非常にしっかりして、お芝居の中に歌が組み込まれている感じなんですね。シャンソンは本当に自分そのものだけ。お芝居の中の歌ではなく、自分でお芝居を作り上げていくような歌といったらいいんでしょうか。村上進先生は一声出ただけでそれが伝わってくる方だったんです。あなたはそうしないと歌わなくなりそうだからと、日本シャンソン協会に道筋をつけてくださったり。もっともっと教えていただきたかったのですが、今も私の恩師です。

**芳賀** 好きだから歌うといつても、続けていくには大変なこともありますよね。麻生さんの場合は、とても幸せな歌との関わり方じゃないかという気がします。

**麻生** 幸せだと思います。歌い続けてこられたのは、やっぱり聴いてくださる方がいるからですね。そうでなければとくに歌うことをあきらめています。ほめられたり評価してももらいたいわけではないけれど、自分が詞や曲から感じたものを歌に作り上げて、聴く人にそれが伝わる、自分と同じように感じてくれる。ほかの芸術もそうだと思いませんけど、それが喜びなんじゃないでしょうか。

それだけ、という感じです

ね。私は自信のない人で（笑）、自分の歌が聴く人に伝わるのが、いつもドキドキなんです。舞台はいつもこわい。でも、聴いている方が感じ取ってくれているなどわかる瞬間があるんです。シャンソニエで見ず知らずの方が帰りがけに「いい歌だったね」とおしゃってくださったり。そういう時がいちばん嬉しいですし、少し自信になったと思いますね。私はふつうの奥さんですけど、一曲の歌を作り上げて歌うことで自分の人生を感じられるようにしてもらっているのかもしれません。歌は結局その人の人生すべてが出来ますから。

**芳賀** 歌の力ってすごいなあ。7月のアミューたちかわ「シャンソンフォリー」も10年目を迎え、たくさんの方がいらしていました。もっと定着するといいですね。

**麻生** 立川シャンソンフォリーは10年前、井上みち子さんが呼びかけて、シャンソン協会のみんなががんばって続けてきました。井上さんはよく、もっと立川の中でシャンソンをやっておしゃるんですけど、私も最近特にそう思います。9月に草津音楽の森国際コンサートホールで歌わせていただきますが、これにも立川の方たちが関わっているんですよ。以前パリに行ったとき、朝市で歌好きの人たちが集まってアコーディオンひとつを伴奏にシャンソンを歌っているんです。パリ滞在中どこで聴いたシャンソンより素敵でした。立川もそういう街になるといいな



曙町	キャフェ クリムト	曙町2-5-1-2F 526-3030
	宮地楽器 MUSIC JOY 立川北	曙町2-5-18-7F 527-6888
	三井住友銀行 立川支店	曙町2-6-11 522-2151
	Italian Cuisine サヴィニ	曙町2-7-10 525-1662
	Art&Coffee Room 新紀元	曙町2-7-21-4F 526-6952
	多摩信用金庫 本店	曙町2-8-28 526-1111
	たましんギャラリー	曙町2-8-28-9F 526-1111
町	三上鰹節店	曙町2-8-30 522-3259
	旬彩懷石 若草茶屋	曙町2-8-30 526-0010
	輸入文具 ホワイトハウス	曙町2-11-2-4F 525-8558
	ステンドグラス ぱさーじゅ	曙町2-11-2-4F 522-1941
	輸入雑貨 BASE 26	曙町2-11-2-4F 548-4326
	スパゲティー専門店 はしや	曙町2-11-2-4F 528-2338
	立川リージェントホテル	曙町2-11-7-2F 522-1133
	フランス風家庭料理 ラ・フランス	曙町2-11-8-6F 529-5522
	ビックカメラ 立川店	曙町2-12-2 548-1111
	Wine & Dining るもん	曙町2-12-13 527-3022
	三菱東京UFJ銀行 立川支店	曙町2-13-3 524-4121
	ローソン 立川曙町二丁目店	曙町2-17-3-1F 526-7652
高松町	いわしのたかね	曙町2-17-5-1F 527-5958

えくてびあんの舗  
立川と語ろう 立川に生きよう  
えくてびあんは  
リストのお店にいつもあります

今月は 曙町・高松町のお店です。

曙町	カフェ アバン	曙町2-17-15-2F 527-4479
	ダイエー 立川店	曙町2-18-18 525-0331
	三井石油 フロンティア立川	曙町2-19-9 527-3943
	手打ちそば しぇもと	曙町2-20-5 529-5468
	サイクルショップ シンボ	曙町2-21-5 522-6211
	渓流魚菜料理 一竿	曙町2-22-23-B1F 527-3640
町	天ぷら わかやま	曙町2-22-23-3F 525-0222
	おそば やまもと	曙町2-25-8 522-6048
	園部肉店	曙町2-28-16 522-2901
	ベトナム家庭料理 COM VIETNAM	曙町2-32-3-B1 526-5822
	立川市女性総合センター アイム	曙町2-36-2 528-6801
	三田花店 立川高島屋店	曙町2-39-3-1F 526-4187
	エミリーフローレ	曙町2-39-3-3F 526-9788
	立川高島屋 サービスプロア	曙町2-39-3-7F 525-2111
	オリオン書房 ノルテ店	曙町2-42-1-3F 522-1231
	(株)JTB法人東京 西東京支店	曙町2-42-1-8F 521-5550/5585
	元祖つけ麺 味幸	曙町3-4-2 527-4701
	立食いそば・うどん むさし	曙町3-21-21-1F 521-0377
高松町	和菓子郷 花奴万葉庵 工場売店	高松町1-22-8 0120-398785
	多摩画材 (景品交換所)	高松町2-1-25 522-6031

# 世代をつなぐ 伝統のちから

## 元禄から続く立川獅子舞



獅子舞といつてもお正月のお獅子ではない。

毎年八月に開かれる立川諏訪神社例大祭に奉納される伝統芸能。

元禄時代から続く無形文化財を支えるのは、世代を超えて受け継がれてきた地域の絆だ。

今年も八月二十六、二十七両日の例大祭本番に向け、稽古に熱が入る。

江戸時代から伝わる獅子頭。

本番を前に挨拶する保存会の澤田会長。稽古の打ち上げに欠かせない冷や奴も昔からの伝統

町内ごとに繰り出す神輿や山車、お囃子、太鼓などで夏の終わりを賑やかに飾る立川の夏まつり。柴崎町の諏訪神社を中心に、金曜の宵宮から土、日にかけて例大祭が行われる。立川市の無形民俗文化財に指定されている獅子舞も、例大祭の両日、神社境内の相撲土俵で奉納される。

主役は地域の若者たち。もともと立川のいわゆる本村、現在の柴崎町、富士見町の主だった家の子どもたちが村の平和と豊作を祈願して演じ続けてきた。祭の露払いとして行われる棒仕は富士町、大頭、中頭、雌獅子の三頭の獅子と天狗は柴崎町という分担があったが、現在は立川市獅子舞芸能保存会（澤田孝会長）が芸能の指導と保存にあたっている。

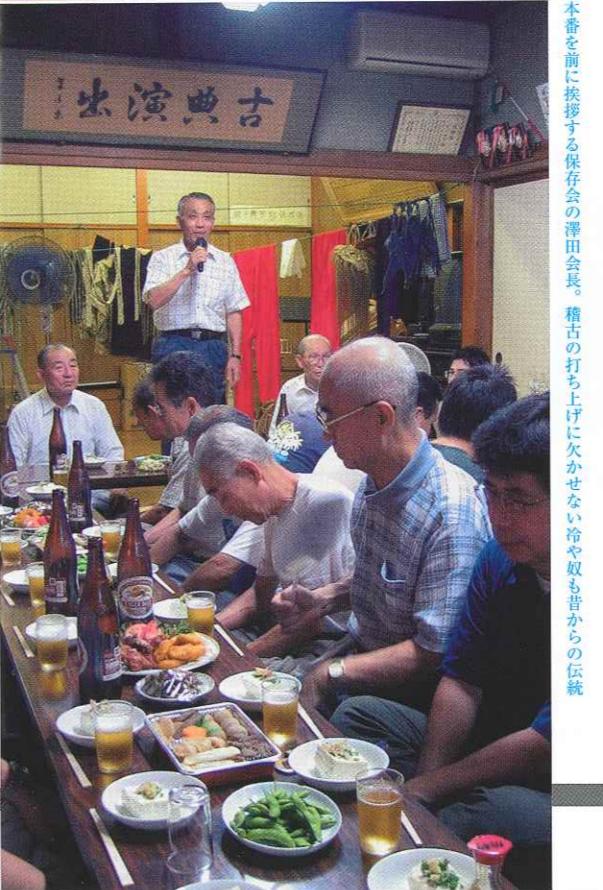
本番を前に稽古の場所になるのは、諏訪神社にほど近い集会所。ここは特別に「獅子小屋」と呼ばれる。八月に入ると、約半月ここで連日稽古が行われる。若者たちを指導し、唄や笛を担当するのは、いずれもかつては棒仕をしたり獅子に入つて舞った古老や地域の人たちだ。

四人の棒仕は、源頼光の四天王（渡辺綱、碓井定光、坂田金時、大江保正）を表し、獅子舞は南方伝来と言い伝えられるように、獅子頭の形やたてがみの鳥の羽根は、どこか工キゾチックな香りがする。『廻れやくるま水車』おそらく廻りて、せきに舞ふよな……ゆつたりとした唄や岡崎くずしの笛も神楽に通じる古風な品格がある。

本来は二時間以上かかるが、現在は約一時間ほどに短縮して演じる。それでも暑さの中、交替なしで頭をかぶり続ける獅子や天狗役は大変だ。ゆっくりとしているようでいて「狂う」と表現される大地を踏みしめる舞いは予想以上に激しい。休憩には大きな扇で風を入れ水を補給し、先輩たちが何くれと心を配る。本村の誇りというべき伝統芸能は、こうして伝えられていく。



棒仕の勇壮な演技が露払いをつとめる



田中 清さん(上砂町)

型染は、江戸小紋や琉球紅型のように絵柄や文様を刻んだ型紙で染め分ける技法。それを布ならぬ紙に染めたのが型染版画。切り絵のようなシャープな線と染めの柔らかい色彩でどこか懐かしい風景を描く。兵庫県但馬の生まれ。京都で染色を、東京でデザインを学び、日本全国を旅して自然を魂に刻み込んだ。かつての米軍住宅の自宅兼アトリエで、一瞬も気の抜けない細かい絵柄を切り、冷たい水を使う染の作業に打ち込む。集中と浪漫、繊細と剽逸。相反するものを包み込んで、田中清の世界がある。

上砂町アメリカ村のご自宅  
写真:細江英公

## かたこと

8月は曇の上ではもう秋。残暑の中にも秋の気配が忍び寄ります。子どもの頃は夏休みの終わりが近づくとなんともいえない気持になりました。「えくてびあん」はひと足早く9月号をお届けします▼夏を締めくくるのは、やはりお祭り。立川を代表するのが「お諏訪さま」の例大祭。「立川の夏祭」と名称は変わっても祭りの中心には森に囲まれた諏訪神社があります▼VIEWは祭りで奉納される伝統の獅子舞です。江戸時代から途切れることなく芸能を伝承してきたのは、立川の本村としての誇りと人々の絆の強さ。いかにも古風な感じのする舞いに伝統の力を見る想いがします▼古いものが古くさいとは限りません。獅子舞も新鮮に見ることができるし、この人この店は高松町の不思議に新しい感覚のアンティーク店のご紹介▼対談をお願いした麻生ミエさんも、歌い継がれたシャンソンを、常に今のご自身の感覚で歌っていらっしゃいます。元宝塚の娘役であり妻、母としても十分に生きながら歌い続ける。いつもお美しい輝いているのは、充実した生き方からなのでしょう▼梅雨が長引いて必ずしも順調とはいえないかった天候の夏でしたが、いよいよみのりの秋です。えくてびあんも良きみのりを目指したいと願います。(芳)

## スタッフ

編集 大久保清志／清水恵美子／中薫子  
デザイン 池田隆男(WATER DESIGN ASSOCIATES)  
AMNET design factory  
写真 五来孝平／中村伸

## えくてびあん(C)9月号

第25巻 通巻262号  
平成18年9月1日発行  
発行 えくてびあん編集工房  
〒190-0012 東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F  
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065  
編集人 芳賀敏博  
発行人 加賀悦也  
印刷 (株)大廣社  
無断転載を禁じます。



立川と多摩地域が  
もっと楽しいホームページ

多摩ではこ  
ネット

<http://www.tamatebako-net.ne.jp/>

多摩ではこネット編集工房  
〒190-0012 立川市曙町3-4-3 武蔵ビル2F  
tel 042-548-9606 fax 042-548-9609  
e-mail message@tamatebako-netne.jp

## 常樂我淨

真如苑提供番組くじょうらくがじょう

スカイバーフェクTV 216ch、マイ・テレビ 84ch

土曜 午前9時~9時15分  
午後7時15分~7時30分  
再放送/火曜 午前9時~9時15分  
午後7時45分~8時  
放送時間は予告なく変更する場合がございます。

立川に育てられて七十年

## 真如苑

柴崎町1-2-13 Tel. 527-0111(代)

## PROM CHUBU

プロム 中武

■営業時間 am10:00~pm 8:00

〒190-0012 立川市曙町2-11-2  
Tel. 042-524-7111 (代表)

## えくてびあん流

## 立川にはフラメンコがよく似合う!?

浅草にサンバあり、高円寺に阿波踊りあり  
一本で生まれた踊りではないが、すっ  
かり土地に定着した踊りの文化がある。

立川でサンバが踊られたことがあったし、「立川の夏祭」には民謡流しや、越中八尾の「おわら風の盆」も登場する。しかし忘れてならないのが、5月立川駅南口すずらん通りに100名以上の踊り手が練り出して踊るフラメンコ! 年に一度のこのフェスティバルだけでなく月1回、アレアレア2・ラーメンスクエアで定期的に無料ライブステージも開かれ、立川の舞踊文化として根づこうとしている。

もともとはスペイン・andalusia地方に伝わる芸能。華やかな衣裳を着た踊り手の情熱的な踊りと、フラメンコギター、ときに哀愁を帯びて魂に染み入るようなカンテ(唄)……本家のスペインを別にして、日本でフラメンコの人気が高いのは、どこか日本人の情緒と共通するものがあるからかもしれない。

立川には『えくてびあん』本年5月号の表紙を飾っていただいたプロのフラメンコダン

サー堀江朋子さんがいらっしゃるし、アマチュアながらレベルの高い「立川フラメンコ倶楽部セビージャ」などの団体もある。堀江さんやセビージャを中心に、立川や多摩地域、都内のフラメンコ愛好者が集まって、フェスティバルやステージを盛り上げてきた。

アレアレアでのライブは原則として毎月第3土曜日の午後6時、7時、8時からそれぞれ30分間の3ステージ。浅草にサンバ、高円寺に阿波踊り、立川にフラメンコと呼ばれるくらい、しっかりと定着する日も近いかもしれません。

7月15日のアレアレア・ライブ  
アレアレアでのライブは原則として毎月第3土曜日の午後6時、7時、8時からそれぞれ30分間の3ステージ。浅草にサンバ、高円寺に阿波踊り、立川にフラメンコと呼ばれるくらい、しっかりと定着する日も近いかもしれません。

## 【あわせ最中】

餡と皮が別々に包んである。自分で皮に餡をはさんでいただく。崩れることなくサクッと割れてパリパリといただく。皮の香りが、甘すぎない餡とひとつになって、最中ってこんなにおいしいんだ……と思う。

(やな瀬／錦町)



## 立川和菓子ものがたり

目に美しく食して美味 ⑧

### 【しょうゆだんご】

大きすぎず小さすぎないだんごをしょうゆに浸してあぶつてある。甘くないのがいい。香ばしさが鼻をくすぐつて、もう一本とついまた手が伸びる。ごちそうがあふれる時代だからこそ、素朴な味がたまらない。

(日乃出屋本店／曙町)

